

東海農政局管内の優良事例に選定証を授与

【岐阜県】

岐阜県では3地区及び1名が選定され、東海農政局長及び東海農政局岐阜県拠点から、選定証の授与を行いました。



令和2年12月16日
岐阜県立岐阜農林高等学校
流通科学科(北方町)



令和2年12月21日
特定非営利活動法人
活エネルギーアカデミー(高山市)



令和2年12月21日
三島 真氏(郡上市)



令和2年12月22日
加子母木匠塾(中津川市)

ロゴマーク



農村をイメージした「稲穂」と漁村をイメージした「海・波」、
農山村をイメージした「山」をモチーフにしたデザイン。

【製作者:濱中 幸子 氏(グラフィックデザイナー)】

【愛知県】

愛知県では3地区及び1名が選定され、東海農政局愛知県拠点から、選定証の授与を行いました。



令和2年12月18日
榎前環境保全会(安城市)



令和2年12月21日
愛知県立安城農林高等学校
エグプロ研修班(安城市)



令和2年12月22日
スリーシーズ合同会社(大府市)



令和3年1月13日
杉田 雅子 氏(豊田市)

【三重県】

三重県では2地区及び1名が選定され、東海農政局次長及び東海農政局三重県拠点から、選定証の授与を行いました。



令和2年12月21日
いがまち山里の幸利活用組合かじか
(伊賀市)



令和2年12月21日
高橋 幸照 氏(多気町)



令和2年12月22日
桑名もち小麦協議会(桑名市)

01

【コミュニティ部門】

岐阜県立岐阜農林高等学校流通科学科 (岐阜県本巣郡北方町)

— 生徒が“先生”、生産者とともに育むGAP —

農林漁業・農村文化体験

食育・教育

企業との連携



岐阜県
北方町

問い合わせ先

〒501-0431

岐阜県本巣郡北方町北方150番地

tel 058-324-1145

fax 058-323-1650

mail p33616@gifu-net.ed.jp

オリパラホストタウンとしてカナダ人へのGAP食材を利用した「神前結婚式」のおもてなし



JGAP 果樹の栽培管理風景

概要

- 地域農家にGAP認証のノウハウを公開するなどの支援を行い、農家のGAP認証取得に貢献。
- 官民一体となり、オリパラのホストタウンとしてGAP食材を使ったおもてなしを企画。GAP認証の柿によるパスタ開発、品質管理を徹底した新品種米の普及等を行う。

成果

- 農林水産省「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」生産局長賞、内閣官房「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」事務局長賞、「お米甲子園」「日本一おいしいお米コンテスト」W受賞、等。
- GAP認証活動面積は、2.5ha（平成29年度）から63ha（令和元年度）まで拡大。



明治記念館にて岐阜の農産物PR

02

【コミュニティ部門】

えのき まえ

榎前環境保全会

(愛知県安城市)

— 水田魚道でどじょうの育み米とふれあい活動 —

環境保全・景観保全

食育・教育

高齢者の活躍



水田魚道観察会 大人も子供も興味津々

愛知県
安城市



問い合わせ先

〒444-1214

愛知県安城市榎前町北榎14番地1

tel 0566-92-0071

fax 0566-92-0071

mail enokihozenkai@katch.ne.jp



どじょうの育み米の栽培団地(水田魚道の観察水田)

概要

- 平成14年より「いつでも福祉・いつでも防災・いつでも環境」をコンセプトに地域内のふれあい活動を開始。平成18年に水田魚道を設置し、平成19年に農地・水・環境保全向上対策(現・多面的機能支払交付金)の活動組織を設立。
- 魚道観察会や季節の祭り等を開催。減農薬米「どじょうの育み米」をブランド化、ふれあい活動で広報紙の発行や異世代間交流活動を実施。保全活動において耕作放棄されていた田畑でサツマイモや大豆を栽培。

成果

- 魚道観察・生き物観察には毎年300～400人が参加。「れんげまつり」・「ひまわりまつり」には毎年1,500人程度が参加している。
- 「どじょうの育み米」は消費、防災用備蓄の他、米粉入りパンに利用。
- 「豊かなむらづくり全国表彰事業」農林水産大臣賞等を受賞。



イベントでのおにぎり作りが非常時の炊き出し訓練となる

03

【ビジネス部門】

桑名もち小麦協議会

(三重県桑名市)

— 世界に届け!日本品種もち小麦のブランド化 —

食育・教育

教育機関との連携

農福連携



三重県
桑名市

問い合わせ先

〒511-0838
三重県桑名市和泉377-1

tel 059-422-6251

fax 059-422-6250

mail info@sozai-ya.jp

古民家を活用したカフェ(右写真)でもち小麦メニューのパンケーキを提供



地元の特別支援学校の生徒による昔ながらの麦ストロー作り

概要

- 小麦卸売、地元農家、パン屋による「桑名もち小麦プロジェクト」に加え、県、市、商工会、JAの連携により「桑名もち小麦協議会」を平成29年に設立。
- 地元でのPRイベントの他、首都圏・海外（台湾等）へも展開。
- 地元学校との協力や農福連携も実施。

成果

- 令和元年度において、もち小麦の出荷量は15t(4年で2.5倍)、使用する飲食店等は50店(4年で5倍)、首都圏や台湾でも販売。
- アンテナショップのメニューを地元高校と検討、麦を使ったストロー生産を特別支援学校と連携する等、教育や福祉との連携も進む。



香港・台湾の展示会に出展

04

【個人部門】

たか はし ゆき てる
高橋 幸照

(三重県多気郡多気町)

— つながり名人! “つながり”が村と人を耕す —

農林漁業・農村文化体験

6次産業化

企業との連携



立梅用水の歴史を伝える高橋さんの紙芝居

三重県
多気町



問い合わせ先

〒519-2211

三重県多気郡多気町丹生1620-3

tel 0598-67-5457

fax 0598-49-4828

mail info@furusatoya-taki.com



絶品の米粉パン「たきパン」

概要

- 農家の高齢化、後継者不足が進む中、福祉活動のため一般社団法人「ふるさと屋」、農地の利用集積等のため農事組合法人「元丈の里営農組合」を立上げ。
- 6次産業化（米粉パン、日本酒）の立上げ、都市農村交流（まつり、視察ツアー）の企画、企業との連携（発電、観光）推進等を手掛ける。

成果

- 福祉活動や農業の担い手を確保。
- あじさいまつりは1日1万人の人出となるイベントに昇華。特産品や米粉パンの売上は年間250万円を超え、地域活性化に貢献。



夫婦酒「彦左衛門と須賀」